

第二次中・長期計画書

シルバー人材センター事業で

知恵の輪

人の輪

社会の輪

地域社会を明るく元気に！

公益社団法人陸前高田市シルバー人材センター

# 目 次

## 序章 計画の基本的構想

- 1 計画策定の趣旨…………… 1
- 2 計画推進の概念…………… 1
- 3 将来像…………… 1

## 第1章 計画の基本事項

- 1 計画の目的…………… 1
- 2 計画の構成…………… 1
- 3 計画の期間…………… 2

## 第2章 基本計画

- 1 知恵の輪…………… 2
- 2 人の輪…………… 2
- 3 社会の輪…………… 2

## 第3章 現状の課題・実施計画・達成目標形式

- 1 仕事、職種の開拓、拡大…………… 2
- 2 受注体制の充実、連携、強化…………… 3
- 3 適正就業の確保…………… 3
- 4 安全就業の確保…………… 4
- 5 適正な事業運営と組織の充実…………… 4
- 6 魅力ある組織づくり…………… 4
- 7 企画提案方式事業の推進…………… 4
- 8 独事事業の企画、実施…………… 5
- 9 会員の拡大…………… 5
- 10 技能講習の充実…………… 5
- 11 地域社会、行政等との有機的連携…………… 5
- 12 事業の意義、仕組みの普及…………… 5
- 13 長期的健全運営の確保…………… 5
- 14 公益社団法人への移行…………… 5

## 第4章 達成目標

- 1 各種指数…………… 6
- 2 対前年度件数の増減…………… 6
- 3 数値目標…………… 6
- 4 年次目標…………… 6

## 資料

- センター概要…………… 7・8

## 策定に当たって

- 1 あとがき…………… 9
- 2 策定に係る考え方の要素…………… 9
- 3 策定体制…………… 9
- 4 中・長期計画策定委員会委員…………… 9

## 序章 計画の基本的構想

### 1 計画策定の趣旨

当センターは、急速に進む少子高齢化社会において、地域からの期待と信頼に応えるため、計画期間を平成7年度から平成21年度とした「第一次中・長期計画」を策定し、これまで目標達成のため一丸となって事業の発展拡充に努め、一定の成果を収めることができました。

しかしながら、補助事業の見直し、公益法人制度改革、国の施策による65歳までの継続雇用制度の導入、社会保障制度の変化、団塊の世代による高齢者の質的変化、労働力人口の減少、長引く経済不況等、センターを取り巻く環境は、著しく変動し、かつ厳しいものになっています。

これらのことを踏まえ、当センターが多様化する地域社会からの要望に応え、信頼を得て的確に事業の発展、拡充を図っていくために、本計画を策定して事業を推進していくものです。

### 2 計画推進の概念

シルバー人材センター事業の基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもとに、会員一人ひとりが知恵、技能、技術、経験を活かして必要な役割と義務を果たし、参画と達成感の喜びを共に分かち合いながら、公益事業としての意義を認識して本計画の推進を図って参ります。

### 3 将来像

定款に掲げられる事業目的を達成するため、次の3つの輪が形成されることを将来のあるべき姿として掲げます。

3つの輪	内 容
知恵の輪	会員が長年培った経験による知恵を地域社会に活かし、高齢者自らが元気な街づくりの担い手となります。
人の輪	高齢者にふさわしい仕事に携わり、働くことを通じて、健康の保持、生きがいの充実を図り、新しい仲間づくりを進めます。
社会の輪	市民の皆様が必要とされる事業を展開し、事業を通じて少子高齢化社会における新しい地域社会のつながりを築きます。

## 第1章 計画の基本事項

### 1 計画の目的

この計画は、基本構想を実現するための方策について、事業を構成する要素別に明確にして、事業の発展、拡充を総合的に進めて行くための指針とするものです。なお、今後においては、社会情勢や陸前高田市の総合計画等に弾力的に対応するものとし、この計画を基礎として見直していくものとします。

### 2 計画の構成

構成項目	説 明
基本計画	基本理念のもとに将来像を達成するための基本となる計画です。
現状の課題	実施計画に反映させるため現状の課題を項目ごとに整理したものです。
実施計画	諸課題を解決するための毎年度の事業実施計画のもとになる計画です。
達成目標	数値あるいはアンケート調査等による計画の達成度をはかるための目標です。

### 3 計画の期間

この計画は、平成22年度を初年度とし、平成31年度（西暦2019年度）を目標年次とする10か年計画とします。また、達成目標計画期間を5年ごとに前期、後期の2つの期間に区分し、各期ごとに達成目標を定めます。

#### 第2章 基本計画

将来像	基本計画	内容
1 知恵の輪	就業機会の拡大	高齢者にふさわしい臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会の拡大を図ります。
	社会参加の促進	働くことを通じて社会活動への多様な参加ができる仕組みづくりを進めます。
	技能等の伝承活動	地域を支える「人づくり」を世代間の交流を図りながら推進します。
2 人の輪	生きがいづくり	会員一人ひとりの生きがいに応えるため事業のワンストップサービス化を図ります。
	健康の保持	会員が活動する上で基本となる健康づくりについて各種メニューにより対応します。
	仲間づくり	事業活動を通じてたくさんの仲間づくりができるよう会員の拡大と相互の連携を図ります。
3 社会の輪	地域コミュニティにおける役割の補完	センターの地域班組織をもって各地区のコミュニティから求められる役割を補完していきます。
	地域貢献事業の企画、実施	少子高齢化社会における会員の責任と自覚のもとに各種事業を企画し実施していきます。
	ボランティア活動の推進	地域において事業を展開する組織の責務として積極的にボランティア活動を推進していきます。
	余暇活動の推進	会員と市民が一体となって参加できる余暇活動の推進を図っていきます。
	少子高齢化社会における仕事の補完	市民みんなの手となって高齢者世帯、若者世帯等の仕事を承ります。

#### 第3章 現状の課題・実施計画・達成目標形式

現状の課題		実施計画	達成目標形式
項目	内容		
1 仕事、職種の開拓、拡大	<p>時代の変化とともに会員の多様な就業ニーズに対応していくことが求められます。</p> <p>また、地域から就業活動についての広報が不足していることの指摘が多く寄せられました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域班等の外交体制の確立</li> <li>② 会員による宣伝活動の推進</li> <li>③ 計画的事業所訪問活動の展開</li> <li>④ 事務系職種分野の開拓</li> <li>⑤ 各種情報収集活動の展開</li> <li>⑥ 各種団体との連携強化</li> <li>⑦ 適正な料金設定への取組</li> <li>⑧ 目安となる料金の公開</li> <li>⑨ 有効な広報活動の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 受注件数、契約金額、就業率を数値目標で設定</li> <li>イ 会員の達成度指数</li> <li>ウ 市民の浸透度指数</li> </ul>

<p>2 受注体制の充実、連携、強化</p>	<p>地域からの需要に確実に応えて行くための体制づくりが求められます。</p> <p>また、特に技能会員の後継者育成は喫緊の課題となっています。</p>	<p>① 各班等による計画的受注の推進          ② 受注の相互連絡体制の確立          ③ アフターサービスの推進          ④ 緊急交代時の体制づくり          ⑤ お得意様との仕事の事前調整の推進          ⑥ 総合的な対応ができる会員の育成          ⑦ 会員就業希望調査の実施          ⑧ 仕事の一連の流れのマニュアル化          ⑨ 能力開発の充実          ⑩ 組織的後継者育成体制の確立</p>	<p>ア 会員の達成度指数</p>
<p>3 適正就業の確保</p>	<p>地域からの信頼を得て事業を行うために、最も大切な要素であり、常に良好な状態が求められます。</p> <p>また、現実に寄せられている苦情、クレームの再発防止が急務な課題とされます。</p>	<p>① 会員の責任感の育成と共有          ② 組織の一員である意識の浸透          ③ 働く仕組みの理解と義務の履行          ④ 苦情、クレーム情報の共有          ⑤ 苦情、クレームの組織的解決          ⑥ 苦情、クレームの確実な解決          ⑦ 苦情、クレーム処理のマニュアル化          ⑧ 仕事と対価に対する責任の向上          ⑨ 請負、委任の支払い条件の理解          ⑩ 発注内容の完全実施          ⑪ 会員のマナー研修の実施          ⑫ 会員のコミュニケーション能力の向上          ⑬ ローテーション、グループ就業の徹底          ⑭ ワークシェアリングの推進          ⑮ 仕事の情報提供方法の確立          ⑯ シルバー派遣事業、無料職業紹介事業による法令の順守</p>	<p>ア 会員の達成度指数          イ 発注者の満足度指数</p>

<p>4 安全就業の確保</p>	<p>高齢者の健康と生きがい目的の本事業において事故を無くすことは最も優先すべき課題です。</p> <p>また、近年においては事故が増加傾向にあることから、一層徹底した対策が求められます。</p>	<p>① 安全教育の徹底          ② 事故分析と再発防止策の樹立          ③ 危険作業受注禁止措置の徹底          ④ 就業現場における安全指導の充実          ⑤ 意識向上と自己責任による取組の徹底          ⑥ 適材適所による就業の推進          ⑦ 安全と健康管理の意識啓発          ⑧ ヒヤリハット事例による事故防止の推進</p>	<p>ア 対前年度事故件数の増減          イ 会員の達成度指数</p>
<p>5 適正な事業運営と組織の充実</p>	<p>事業の基本理念である会員の手による運営の形成が途中半ばであり、より一層推進するために組織体制の充実、強化が必要とされます。</p>	<p>① 事業の意義、仕組みの理解と徹底          ② 事業参画に対する自覚と責任の向上          ③ 意見が反映される体制づくり          ④ 目的達成のために一丸となれる体制づくり          ⑤ 地域班、職群班等の人数の適正化          ⑥ 組織活動充実化のための人材確保          ⑦ リーダー会員の養成          ⑧ 事業に係る計画的な研修の実施</p>	<p>ア 会員の達成度指数</p>
<p>6 魅力ある組織づくり</p>	<p>公益事業として、会員と地域住民のどちらからも魅力のあるセンターとなるための方策が必要とされます。</p>	<p>① ゴールド会員制度の導入          ② 会員からのアイデア募集          ③ 会員の知識や技能の社会還元          ④ 地域密着型事業の企画、実施          ⑤ 市民対象事業の企画、実施          ⑥ サークル活動の推進と規程の整備          ⑦ 地域住民と一体の余暇活動推進          ⑧ 各地域ごとの活動の場の確保          ⑨ 福利厚生事業への市民参加の呼掛け          ⑩ 組織イメージ向上の取組          ⑪ 活力がある組織づくりの推進</p>	<p>ア 会員の達成度指数          イ 市民の達成度指数</p>
<p>7 企画提案方式事業の推進</p>	<p>少子高齢化社会において、当センターが市の総合計画に沿って役割を果たして行くことが使命とされます。</p>	<p>① 介護保険事業の充実化          ② ゴミ減量化等環境事業の推進          ③ 子育て支援事業への取組</p>	<p>ア 会員の達成度指数          イ 市民の満足度指数          ウ 年次目標</p>

8 独事事業の企画、実施	単に仕事の依頼を待つだけではなく、会員自らによって働く機会を広げていくために、既存事業の拡大と新規事業考案のための手立てが必要とされます。	① 独自事業研修会の開催 ② 独自事業を主管する組織の設置 ③ アイディアの公募 ④ 既存事業紹介コーナーの設置 ⑤ ふれあい工房事業の活性化 ⑥ 各種教室等の一般市民への開放	ア 会員の達成度指数
9 会員の拡大	事業の資本となる会員の増加が鈍化してきていることから、有効な対策が必要とされます。	① 会員の口コミ運動の展開 ② 入会説明会の多様化 ③ 各種募集広告の実施 ④ 外に向けた事業展開の活用 ⑤ 再チャレンジ支援行動計画への取組	ア 登録会員数、対会員対象年齢人口入会率、男女別登録会員比率を数値目標で設定
10 技能講習の充実	希望する仕事がない会員のミスマッチ解消、安全就業、技能講習会の一般開放を望む市民の声から、これらのことを満たす有効な講習会の開催が求められます。	① 希望講習内容の把握 ② 有効な講習機会の設定 ③ 事故発生率が高い仕事の定期講習の開催 ④ 一般市民への講習機会の開放	ア 会員の満足度指数 イ 市民の満足度指数
11 地域社会、行政等との有機的連携	センター事業が公共性、公益性、地域全体における有用性を保ち、かつ市民である会員が関わる様々な活動を有意義とするため、地域社会、行政等との綿密な関係の構築が必要とされます。	① 地方自治体との連携 ② 関係組織、団体との連携 ③ 民間企業との適正な共存	ア 会員の達成度指数 イ 関連団体等の達成度指数
12 事業の意義、仕組みの普及	アンケート調査の結果、地域における事業の意義、仕組みの浸透が浅いことから、普及の努力が求められます。	① 地域班単位による普及活動の推進 ② 各種イベントにおける普及活動の推進 ③ 有効な普及活動の企画、実施	ア 市民の達成度指数 イ 関連団体等の達成度指数
13 長期的健全運営の確保	安定した事業運営を持続的に保つためには、長期的展望に立った健全財政が必要不可欠となります。	① 財政計画の樹立 ② 組織活動費の公平、明瞭化 ③ 配分金支払準備金の確保 ④ 予算の計画的な執行 ⑤ 会員による事業運営の推進	ア 役員の所見指数 イ 年次目標
14 公益社団法人への移行	引き続き社会的公益性を確保して事業を行って行くため、公益社団法人としての認可を目指します。	① 移行計画の策定 ② 事業の公益認定基準のクリア ③ 公益社団法人認可申請	イ 年次目標

## 第4章 達成目標

達成目標は、形式ごとに次のとおりとします。

### 1 各種指数

計画の期間の前期、後期の各期の終了した時点においてアンケート調査を行って成果をはかるものとし、前期においては50ポイントを後期においては100ポイントを達成目標とします。

### 2 対前年度件数の増減

計画の期間の前期、後期の各期の終了した時点において各年度の増減差を集計し、目標内容に向かってプラスの場合には達成、マイナスの場合には未達成とします。

### 3 数値目標

項目 / 年次	平成23年度	前期				後期			
		平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)				平成27年度(2015年度)～平成31年度(2019年度)			
1 仕事、職種の開拓、拡大									
(1) 受注件数(件)	1,130			← 1,695 →		← 2,260 →			
(2) 契約金額(千円)	54,675			← 82,000 →		← 110,000 →			
(3) 就業率(%)	100			← 100 →		← 100 →			
2 会員の拡大									
(1) 登録会員数(人)	185			← 270 →		← 350 →			
(2) 対会員対象年齢人口入会率(%)	2.1			← 3.0 →		← 4.0 →			
(3) 男女別登録会員比率(男:女%)	60.4:39.6			← 50:50 →		← 50:50 →			

### 4 年次目標

項目 / 年次	平成23年度	前期				後期			
		平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度)				平成27年度(2015年度)～平成31年度(2019年度)			
1 企画提案方式事業 子育て支援事業	調査検討		調査検討	事業開始					
2 財政関係事項									
(1) 車両新規購入又は更新時期		軽ワゴン 軽トラック	ロングバン						
(2) 各種リース満了時期			印刷機 コピー複合機 EVA15X5台	介護活動車	ほのぼのシルバー	印刷機 コピー複合機 EVA15X5台			
3 公益社団法人への移行	申請・移行	準備	申請・移行						



## 社団法人陸前高田市シルバー人材センター概要

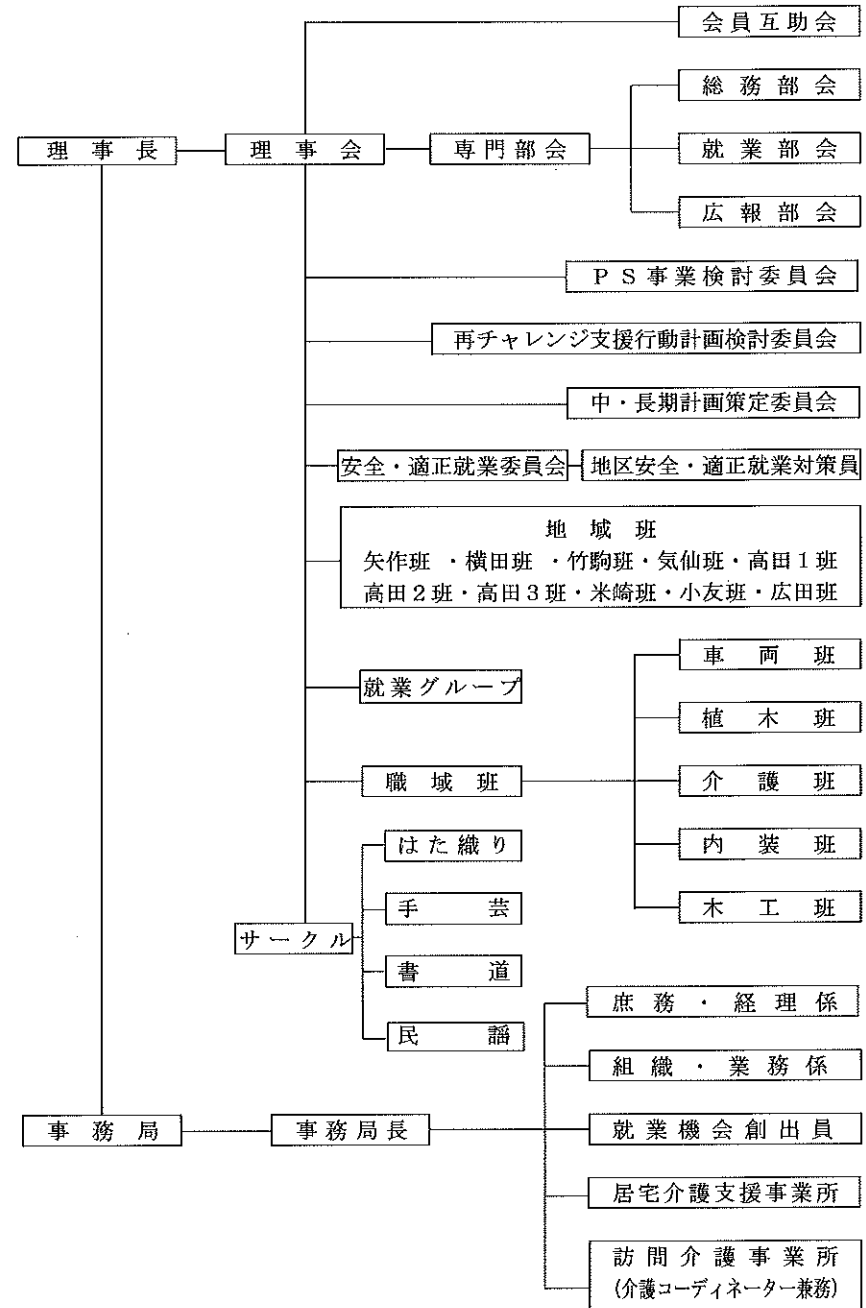
- 1 名称 社団法人陸前高田市シルバー人材センター
- 2 所在地 〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字中田6番地1  
陸前高田市シルバーワークプラザ内  
TEL 0192-54-4888 FAX 0192-54-4889  
E-Mail [rikutaka@sjc.ne.jp](mailto:rikutaka@sjc.ne.jp)  
URL <http://www.sjc.ne.jp/rikutaka/>
- 3 代表者 理事長 鈴木 政行
- 4 設立(法人許可) 平成5年6月29日
- 5 国庫補助金交付開始 平成5年6月
- 6 陸前高田市の概要(平成22年4月1日現在)
- (1) 人口 24,317人
- (2) 面積 232.19km<sup>2</sup>
- (3) 高齢者人口 10,029人(60歳以上)
- (4) 高齢者率 38.8%(60歳以上)
- (5) 粗入会率  $308人(会員数) \div 10,029人(60歳以上の人口) = 3.1\%$
- 7 役員 理事13人・監事2人
- 8 事務局 事務局長1人・事務局次長1人・管理者兼介護支援専門員1人・  
管理者兼サービス提供責任者1人・サービス提供責任者2人・  
就業機会創出員1人・地域支え合い介護コーディネーター1  
人・臨時職員1人・業務兼企画提案方式事業担当職員1人(男  
3人・女7人・計10人)
- 9 組織
- (1) 地域班 10班(矢作班・横田班・竹駒班・気仙班・高田1班・高田  
2班・高田3班・米崎班・小友班・広田班)
- (2) 安全・適正  
就業委員会 構成:委員7人(理事3人・会員3人・安全就業推進員1人)  
地区安全・適正就業対策員(地域班より各1人)
- (3) PS事業検討委員会 構成:委員4人(理事1人・会員3人)
- (4) 再チャレンジ支援  
行動計画検討委員会 構成:委員5人(理事5人)
- (5) 中・長期計画委員会 構成:委員7人(理事6人・事務局1人)
- (6) 専門部会 総務部会・就業部会・広報部会(3部会)  
※いずれの部会も担当理事3人・地域班選出委員10人 計13人で構成
- (7) 職域班 車両班17人(H7.4.1結成)・内装班5人(H14.9.17結成)  
植木班12人(H8.2.17結成)・木工班7人(H14.12.19結成)  
介護班34人(H13.10.23結成)
- (8) サークル はた織りサークル15人(H18.4.7結成)  
手芸サークル7人(H19.2.17結成)  
書道教室12人(H20.6.17結成)  
民謡教室15人(H20.10.21結成)
- (9) 就業グループ 41グループ(職域・職群ごとのグループ)
- (10) 会員互助会 平成7年5月24日設立(会長=理事長・全員加入)  
会費年額1,000円

## 10 組織運営及び活動状況

- (1) 総会 通常総会年1回開催(開催時期毎年5月)
- (2) 理事会 年6回開催
- (3) 地域役員連絡会議 年2回開催
- (4) 地域班 班会議、懇親会の開催・研修旅行、奉仕活動の実施
- (5) 安全・適正  
就業委員会 講習会等開催(大会年1回・安全就業年3回・交通安全年1  
回・健康管理年1回)・安全パトロールの実施・標語コンク  
ール・その他安全啓発活動
- (6) PS事業検討委員会 直営小売店事業構想の検討
- (7) 再チャレンジ支援  
行動計画検討委員会 目標達成のための調査、研究・実施計画の策定と推進
- (8) 中・長期計画委員会 中・長期計画策定・各種団体、内部組織との連絡調整
- (9) 専門部会  
ア 総務部会 総会運営・入会促進・各種班会議出席・イベントの企画及び  
参加  
イ 就業部会 独自事業・就業開拓及び技能講習(後継者育成、確保)の企画、  
立案、実施  
ウ 広報部会 広報誌、チラシ編集、発行等の広報活動・ホームページの更  
新・行政、マスコミへの情報提供(記事、写真)
- (10) 会員互助会 親睦旅行の実施・慶弔等の給付活動・奉仕活動の実施
- (11) 職域班 各班において研修会、懇親会、事業普及啓発活動、奉仕活動、  
製品開発などを実施
- (12) 就業グループ 就業に必要とする講習会、懇親会の開催
- (13) サークル 定期的な自主活動と独自事業への参画
- 11 事業運営
- (1) 補助ランク 国庫補助Cランク
- (2) 会費 年額2,000円
- (3) 配分金 月末締め翌月15日払い
- (4) 事務費 配分金の7%
- (5) 独自事業 菓子工房事業(手づくり和菓子製造)・農産物生産事業(坊ちや  
んカボチャ、ヤーコン、アピオス栽培)・竹製品事業(ミニ門  
松製作)ふれあい工房事業(木工;各種木工製品製造・はた織  
り;さき織り製品等製作)・会員生産農産物販売事業  
販売方法:産業まつり出店・道の駅タビック45出店・地域振  
興株式会社委託など
- (6) 事務所 陸前高田市シルバーワークプラザ(延床面積238.88m<sup>2</sup>)  
訪問介護事業所19.87m<sup>2</sup> 相談室19.87m<sup>2</sup> 研修室49.69m<sup>2</sup>  
事務室66.25m<sup>2</sup> 和室作業室19.88m<sup>2</sup> 調理実習室20.29m<sup>2</sup>  
倉庫18.22m<sup>2</sup> その他トイレ等24.81m<sup>2</sup>
- (7) 作業所 ふれあい工房(延床面積1階107.64m<sup>2</sup>・2階1階107.64m<sup>2</sup>)  
1階 木工の部 自動カンナ、超仕上カンナ、バンドソー、  
小型角ノミ、卓上ボール盤、糸ノコ盤、卓上丸ノコ、電気ド  
リル 各1台・グラインダー、卓上木工旋盤 各2台

- (8) 事務機器 2階 機織部 織機5台、整経台2台、千巻及び餅用具1式  
コピー複合機(FAX兼用)1台・印刷機1台・パソコン4台  
プリンター5台・SC事業用パソコンエイジレス5台  
介護事業用パソコン3台、シュレッダー
- (9) 車 両 軽トラック3台・軽ワゴン1台・ライトバンロング1台・軽自動車1台(リース)
- (10) 就業什器備品 芝刈機・自走式粉碎機・自走式カッター・クローラー運搬機

14 組織構成図



12 事業実績

区分	平成20年度		平成21年度		
1 会員数 ( )内平均年齢	男	163人(71.4歳)	男	174人(71.1歳)	
	女	133人(68.1歳)	女	134人(68.5歳)	
	計	296人(69.9歳)	計	308人(70.0歳)	
2 受注件数	2,533件		2,512件		
3 契約金額	金額	134,255,042円	金額	152,408,020円	
	配分金	107,787,748円	配分金	118,495,243円	
	材料費	5,386,959円	材料費	8,393,285円	
	事務費	21,080,335円	事務費	25,519,492円	
4 就業延人員	32,858人日		33,957人日		
5 受注先別比率	種別	就業延人員	契約金額	就業延人員	契約金額
	公共	21.2%	21.9%	28.9%	32.0%
	企業	37.1%	35.6%	27.7%	24.2%
	家庭	19.4%	20.0%	19.2%	19.2%
	介護 施設	20.9%	21.6%	22.5%	23.3%
福祉 施設	1.1%	0.72%	1.7%	1.3%	
6 就業実人員 ( )内就業率	男	163人(104.3%)	男	174人(109.8%)	
	女	133人(110.5%)	女	134人(102.2%)	
	計	296人(107.1%)	計	308人(106.5%)	

13 職群別事業実績 (平成21年度実績)

区分	公共事業		民間事業		一般家庭		合計		構成比
	延人員	配分金	延人員	配分金	延人員	配分金	延人員	配分金	
	人日	円	人日	円	人日	円	人日	円	%
技術	39	296,064	759	2,182,561	37	99,780	835	2,577,405	2.2
技能	8	22,900	691	2,406,448	1,004	5,701,938	1,703	8,131,286	6.9
熟練	1	2,500	25	69,740	6	5,810	32	78,050	0.1
管理	450	2,047,235	824	3,618,573	0	0	1,274	5,665,808	4.8
事務	1,028	5,582,246	61	58,560	0	0	1,089	5,640,806	4.7
軽作業	8,294	33,394,024	7,498	26,432,628	2,208	9,212,266	18,000	69,038,938	58.2
サービス	0	0	127	389,320	10,897	26,973,630	11,024	27,362,950	23.1
計	9,820	41,343,969	9,985	35,167,830	14,152	41,993,444	33,957	118,495,243	100.0

## 策定に当たって

### 1 あとがき

今シルバー人材センターは、国庫補助金縮減による事業運営の効率化、公益法人制度改革による公益社団法人への移行、企画提案事業及び一般労働者派遣事業への取り組みなど、時代の変革期に当たり様々な社会情勢の変化に対応することが求められています。加えて本市においては、日々進展する少子高齢化により、当センターが果たさなければならない役割は、益々多岐に亘ってきています。委員会では、平成7年度から15か年の方向を示した第一次中・長期計画の達成状況を精査し、現状の課題把握、公益法人としての使命の確認、会員の皆さんや地域の様々な方々からのご提言をまとめ、新たな中・長期計画案の策定に取り掛かって参りました。策定に当たっては、「自主、自立、共働、共助」の事業の基本理念を基盤とし、より多くの元気高齢者が事業に賛同して集い、地域社会において有用な事業になることを切に願って組み立てたものです。

### 2 策定に係る考え方の要素

計画策定に当たっては、公益法人としての性格を重んじ、次に掲げる事項を策定に係る基本要素としました。

#### (1) 現状把握

事業に必要とする基本的な要素の項目を定め、設立からこれまでの事業状況を分析し、諸課題等を分類しながら現状を把握しました。

#### (2) 課題、意見、要望等の集約

区 分	内 容
市民	これまで実施したアンケートの結果を反映しました。また、ホームページに課題、意見、要望等を頂く窓口を開設しました。
地区コミュニティ推進協議会長	アンケートにて課題、意見、要望等の提言を頂きました。
行政	各課等より、アンケートにて課題、意見、要望等の提言を頂きました。
事業所	現在取引している事業所より、アンケートにて課題、意見、要望等の提言を頂きました。
会員	地域班を通じて全会員にアンケートを実施し、課題、意見、要望等を把握をしました。
内部組織	これまでの事業状況を踏まえ、各委員会、専門部会ごとに、課題、意見、要望等を集約しました。
事務局	職員個々に、課題、意見、要望等の提出を求めました。

### 3 策定体制

区 分	内 容
総会	会員全体の意思決定機関、かつ当センターの最高の意思決定機関として、提案された内容を審議して議決します。
理事会	法人の事業執行と運営を担う役割として、中・長期計画策定委員会に対して計画策定に必要な意見を述べるとともに、委員会が策定した計画案を総会に付議すべき事項として審議しました。
中・長期計画策定委員会	中・長期計画策定委員会設置要綱に基づき、計画策定に関して必要な事項を協議し、所要の調整及び推進を図りました。
事務局	中・長期計画策定委員会及び理事会に連動し、計画策定に係る事務処理を行いました。

### 4 中・長期計画策定委員会委員

委員長：阿部勝也(副理事長) 副委員長：佐藤良一(理事・会員互助会副会長) 委員：中村 勉(高田1班班長・総務部会部長) 熊谷榮夫(理事・就業部会部長)  
熊谷省二(理事・広報部会部長) 中居テル子(理事・介護班班長) 佐々木正博(事務局) 以上7名

シルバーで  
知恵の輪  
人の輪  
社会の輪

